

徳島

まぐろ、いくら……本物そっくり精巧な作り

無料の育児雑誌を発行するワイヤーオレンジ(徳島市)が、おむつや育児用品などを使ってすしを模した出産祝いギフト「おむつ寿司」の販売を始めたところ、人気を呼んでいる。本物そっくりの精巧な作りや実用的で安全なグッズを厳選するなどのこだわりが評判になり、製作が追いつかない状態に。担当者は反響に戸惑いながらも、「出産祝い」と言えば『おむつ寿司』と言われる商品にこそ意気込む。

会社によると、近年、出産祝いにおむつをケーキの形にしたものを贈る人も多いといいますが、「日本人のお祝いに欠かさないすしなら」と開発に乗り出した。男性ばかりの同社のスタッフが数十種類の育児用品を集め、新生児がいる家庭でも安心して使える商品かどうかやすしネタに見えるかなどを検討。子育て中の人は自分の家族にも意見を聞

おむつ寿司人気



ワイヤーオレンジが販売を始めた「おむつ寿司」
＝徳島市北沖洲1の同社で

徳島・育児雑誌発行元——出産祝い、半月待ち

きながら、試行錯誤を繰り返して完成させた。

シャリの部分はおむつを小さくたたみ、よだれかけや靴下、スポンジなどの日用品をネタの魚介類に見立てた。ネタは、まぐろ(シリコンマット)やサーモン(重曹用スポンジ)、いくら(保冷剤)など約20種類。すしを詰める折り箱やふろしきも特注した。

商品販売のために立ち上げた「おむつ寿司本舗」の店長を務める紋田興行さん(31)ら2人がサイズによっては1時間以上かけて握っている。

1月からネットで本格的な販売を開始すると、数百件の注文が殺到し、今申し込んでも半月待ちの状態という。サイズは4種類で、価格は5000～1万円(税別)。同本舗ホームページ(<http://omusuzushi.wire.co.jp>)。

【阿部弘賢】